

とても興奮しています!

Kavli IPMU 機構長

村山 斉 むらやま・ひとし

2012年4月1日、私たちの研究所は「カブリ数物連携宇宙研究機構（Kavli IPMU）」と名を改め、2012年5月10日、東大柏キャンパスのKavli IPMU研究棟でその記念式典を開催しました。そしてその前日、カブリ財団フレッド・カブリ会長、ロバート・コン理事長と、日本の野田佳彦総理大臣を首相官邸に表敬訪問しました。これらの素晴らしい出来事にとっても興奮しています!

記念式典では、私と濱田総長の挨拶の後、8人の来賓から祝辞を戴きました。カブリさん、コンさん、WPIプログラム委員会の井村裕夫委員長、文部科学省研究振興局の吉田大輔局長、スタンフォード大学のカブリ素粒子天体宇宙研究所のロジャー・ブランドフォード所長、ケンブリッジ大学のカブリ宇宙論研究所のジョージ・エフスタシオ所長、北京大学のカブリ天文・天体物理研究所のシャオウェイ・リュウ所長、そして中国科学院のカブリ理論物理学研究所のユエリャン・

ウー所長です。また、当日残念ながら欠席された沖縄科学技術大学院大学のジョナサン・ドーファン学長からも心のこもったメッセージを戴きました。

濱田総長はカブリさんに感謝の意を述べられ、そしてKavli IPMUを東大の恒久的な組織として確立する強い意志を示されました。続いてカブリ氏はIPMUを「カブリ・ファミリー」の新しい一員として歓迎し、基礎科学をサポートする氏の支援の動機について話されました。お二人のスピーチには大変感銘を受け、励まされました。

式典の最後では、Kavli IPMU研究棟前に新しく設置されたKavli IPMUのモニュメントを、カブリさんと私が一緒に除幕しました。碑の表と裏にはそれぞれ、ガリレオが1610年に出版した「星界の報告」に挿入したオリオン星雲とプレセペ星団のスケッチのコピーがあります。写真でご覧のように、夜はこのパターンが光るのです。





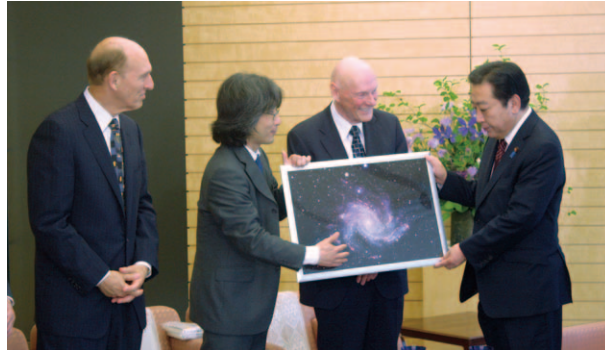
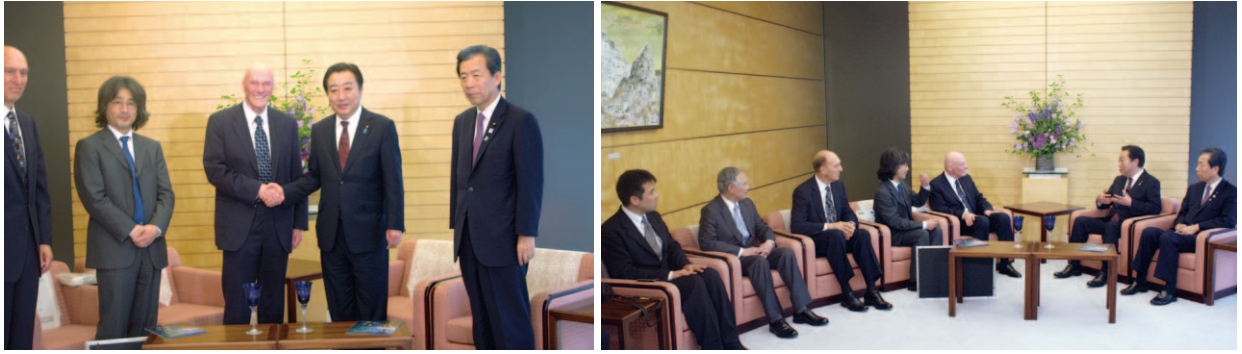
式典の前日の5月9日には、カブリさん、コンさんと私は、野田総理大臣を表敬訪問しました。前東京大学国際高等研究所所長で現日本天文学会理事長の岡村定矩教授と、宇宙膨張の加速の発見で2011年ノーベル物理学賞を取ったソール・パールマッターのグループで研究をしているローレンス・バークレー国立研究所の鈴木尚孝博士にもご一緒いただきました。首相と一緒に、平野博文文部科学大臣も私たちを迎えて下さいました。

首相は冒頭の挨拶で、「基礎研究の発達というのは、人類共通の財産になると思っています。(中略)特に村山先生を筆頭にですね、これは世界中から今人材が集まっているんですよ。我々はグローバル人材が集まる研究拠点をもっとつくりたいと思っているのですが、そういう中でさきがけとしてですね、こういう形で注目をいただいたということは非常にありがたいことだと思っています。いわゆる権威ある機関に、証明をしていただいたという風に思います。大変意を強くしております。」と発言されました。

カブリさんは首相に向けて、日本という国と、科学

への共通の思いに敬意を表されました。「この素晴らしい日本に帰ってこれて、とても嬉しく思います。この国はほんとに、サイエンスでもテクノロジーでも、常に最先端を体現していて、とても先進的な国だと思っています。(中略)そして私達は、今回IPMUをサポートできるようになったことを非常に嬉しく思っています。IPMUは本当に世界で最先端の、世界でも有数の研究所になってきました。」

コンさんも深く同意し、特にIPMUは日本の世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)で設立された6つの国際研究拠点の一つであることを強調し、次の様に述べました。「そして今でも、アジア全体の中で日本のサイエンスというのが一番先を行っているとは思っています。私達がIPMUに興味を持ったのは、WPI、世界トップレベル研究拠点プログラムのお陰です。このプログラムは、日本だけではなくて、本当に世界中に大きな影響を及ぼしていると私はみています。新しい、前に進む道の一つです。(中略)そして今回IPMUを(15ヶ所あったカブリ研究所の)16ヶ所目として加えることができました。この16ヶ所目



が日本にあって東大にあったというのは、我々にとっても非常に幸運だったという風に思っています。」

そして平野大臣は Kavli IPMU の発展を賞賛して下さいました。「世界のトップレベルのプログラムですけれども 6 つ今置いてありますが、その中に会長の目にとまって新たに基金としてですね、我が国初めてのこういう形でやらしてもらったと、村山先生のお力も当然あるわけですが、そういう中で今回、大変意を強くしておりますし、選定も間違っていなかったと、こういう風に喜んでるところです。」

この訪問に際して、私はすばる望遠鏡が撮った渦巻き銀河の写真を首相と文科大臣にプレゼントし、こうした銀河は全て未知の暗黒物質で満ちていることを説明しました。そして Kavli IPMU の研究者の半分以上が世界中からやって来た外国人であり、インフォーマルなティー・タイムで大勢のビジターとともにメンバー間で学際的な交流が進むようにしていること、またユニークなデザインの研究棟もその目的にかなっていることも紹介しました。

こうして、Kavli IPMU が大勢の人の祝福の中で明

る未来へ向かって足を踏み出せたことを本当に嬉しく思っています！